

令和6年度
介護労働講習（実務者研修を含む）

実施期間 6月18日～11月25日



～私たちは介護のプロを応援します～

（公財）介護労働安定センター
神奈川支部



掲載している写真・氏名等の個人情報につきましては、予めご本人の承諾を得て掲載しています。

修了おめでとうございます



修了者へ贈る言葉

令和6年は、修了生の皆さんにとって思い出深い年になったのではないかと思います。普段の生活から、半年間の受講生という環境の変化は、家族の方も含めとても記憶に残る年になったかと思えます。

同じように、社会環境の変化でも記憶に残るような令和6年だったかと思えます。そういった意味では、講習を思い返す時に「あの年は・・・」とそれぞれの方々が振り返る事になるものと思えます。

年齢も職歴もバラバラな皆さんが、実習等の課題を助け合って乗り越えていかれた事は、介護の現場でも助け合う環境作りを学ぶ事が出来たと感じております。それを教えられるのではなく、感じ取ることが出来たのは、「学ぶ」だけでなく「感性」として沁み込むことになるのではとも思っております。

介護にはコミュニケーションスキルが大事ですが、人によって抽象的に捉えられるものでもあります。正解があるわけでもなく、幅広い価値観でなければならないものでもあります。「学ぶ」だけでなく、「感じる」事も新しい職場で取り組んでいただければと思います。新しい旅立ち、本当におめでとうございます。

神奈川支部長

講習風景

開講式



生活支援技術

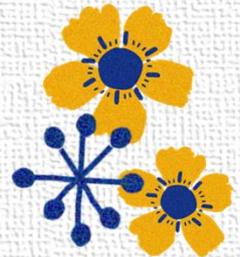


医療的ケア演習



講習風景

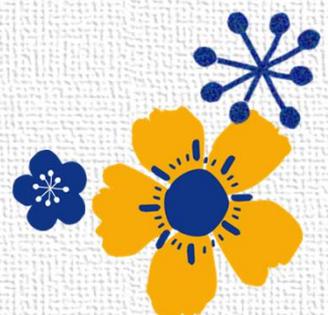
介護過程Ⅲ 実技



就職面接会



腰痛予防



講習を終えて

今年は44名が講習を修了し、それぞれの道へ進んでいきました。
修了者の感想をご紹介します。

介護の世界に入りたいと思っていたが、踏ん切りがつかなかったときに講習に参加させていただきとても心強く思いました。介護の知識や実技を学べたことは、自信につながりました。

実技・演習の講義はユニークな講師が多く、厳しい中にも熱意を感じとてもよかったです。

年齢も職歴もばらばらの人たちの中で、どうなることかと不安もありましたが、それぞれの経験や、介護を目指した理由など、いろいろと話を聞いたり、授業の中で助け合って乗り越えたりしていくうちに、終わってしまうのがとても寂しく感じるほどになりました。貴重な経験ができてよかったですと思います。

様々な知識・技術・経験を見聞することができ、楽しかったです。いろいろな人と交流できたこともとても勉強になりました。

現場実習は就職前に施設の雰囲気を知ることができるのでとても良い体験でした。

「介護する人」がつい使ってしまう「〇〇してあげる」という言葉に潜む“上から目線”を自戒せよという教えにも大変共感しました。私自身もこれから日々〈自分がされたい介護〉を基本に自分の介護観を磨きたいと思います。



就職先を訪ねて



大矢 直紀さん 令和4年度年度修了者

介護労働講習で学んだことは？

講師の熱意を感じることで、介護職に就くための心構えを学ぶことができました。お客さまのことを知るためにはまず自分のことを知ること、尊厳を守ることが大切ということについて、講習の時にはなるほどと受け止めただけでしたが、実際に介護職に携わるようになり、その時の講師の熱のこもった言葉の意味を実感しています。

実際に介護の仕事に就かれた感想は？

入職当初、ケアすることの難しさから、つらいと感じたこともありましたが、でも、それはお客さまの気持ちに寄り添うことが足りなかったためだと気づき、まず自分の名前を覚えていただくところから始まり、時にはぶつかりあいながらその方の人となりを知り、信頼関係を築けるようになったことで気持ちが変わりました。

講習で学んだことを実務に活かし、3名で回すこともある業務を同じ介護労働講習修了生の同僚と2名で回せる実力もついてきました。お客さまとの交換日記でお互いの理解を深めたり、レクリエーションの企画を行うなど業務の幅も広がっており、職場の仲間にも恵まれモチベーション高く業務にあたっています。お客さま一人一人と正面から向き合うことを大切にしながら、日々介護の仕事の奥深さ、学びの多さを感じています。

講習内容などについてのご感想は？

講義一つ一つが丁寧で分かりやすかったです。年齢を重ねてからの受講でしたが、だからこそ学ぶことの楽しさを得ることができたと思います。医療的ケアなどの実技指導は厳しかったですけど身につけていて、実際の現場でも役立っています。各分野での経験豊富な講師が、不安や疑問に対して本音で回答してくれたことも、就職するときの安心感につながりました。また、幅広い視野を持つようにという講師の言葉に刺激を受け、現在は社会福祉士の資格取得を目指し勤務しながら大学で勉強しています。

これから受講される方へメッセージをお願いします

介護業界について、気になるけれど知識もなく、年齢も若くないなどの不安を抱えている方も多いと思います。私もそうでしたが、介護労働講習で学ぶことで不安を払拭できました。

講習中は講義内容や人間関係などで厳しいと感じることもありましたが、修了後は資格を取得することもでき、ともに講習を乗り越えた仲間とは今も連絡を取り合っています。講習で学んだ内容は実践にも役立っていますし、何よりも悩みを分かち合える同期の仲間が何十人もいることは心強いです。講習で学んだことで視野が広がり、就職後も業務や活躍の範囲を広げていくことにつながっています。

介護の仕事は就職しケアに携わるところからが始まりです。そのスタートラインに立つための導入として、介護労働講習を受講するのはとてもよいと思います。

事業主さまから一言

横浜市浦舟ホーム 所長 新垣 恵子氏

普段の仕事ぶりはいかがですか？

つらかった時があったというお話に驚くくらい、お客さまと心を通わせてケアすることができています。またお客さまに対してだけではなく、職場の仲間とも同じように交流し、心を掴んで皆が同じ方向を向けるような関わりができる方です。

ケアでも職場環境でも、それぞれがよりよくなるにはどうしたらいいのかについて常に考え、進んでくれています。介護現場に長くいると慣れてしまっていることにもフレッシュな疑問を投げかけてくれるので、私たちも気づかせてもらうことがあり、職員にも学びを提供してくれます。アセスメントもお願いするようになっていますし、これからの活躍に期待しています。

これから受講される方へメッセージをお願いします

大矢さんのように、他業種からの転職は介護業界に新しい風を運んでくれます。介護の仕事は確かに大変な仕事ですが、学び続けていけば進む道にも様々な選択肢がある業界です。講習を受講し、介護業界を目指してください。多様な方をお待ちしています。